

第4回21世紀リハビリテーション研究会

介護・依存から自立へ(高齢障害者が自分で生活できる健康を取り戻す。)

2000年8月5日午後2時より
日本医科大学医療管理学教室第一講堂(大学4F)

目次と案内

オープニングスピーチ 2時20分～2時30分

木島英夫 木島整形外科医院

研究会のこれまでとこれから。2025年で16%弱と想定される要介護老人の発生を10%以下にする。

セッション・ 2時30分～3時40分

インペアメントレベルから自立への訓練

2時30分～2時40分

座長 木村哲彦 日本医科大学医療管理学教室教授
創動運動とその実施プログラムに係る研究を中心として

パネリスト

2時40分～2時50分

牧田光代 昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園所長
老人介護力強化病院における訓練と実績評価。

2時50分～3時

遠藤 敏 慶応義塾大学病院リハビリテーション科

理学療法士の他動運動補助機器について。3次元動作解析装置を用いて、簡易な下肢機能訓練器具の可能性を検証。

3時～3時10分

家本晃 神奈川県産業技術総合研究所機械システム工学部

下肢機能訓練器具による運動機能の回復度を定量的に評価できる機器の開発

長澤弘 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科

高齢者の骨折術後患者のADL向上は実現が困難。歩行補助具の自宅内利用でADLの低下予防と向上を図る。

3時10分～3時20分

森田能子 川崎医科大学附属川崎病院リハビリテーション科

タキザワ式リハプログラムの医学的見地からの実態分析。

TEA BREAK

セッション・ 3時40分～4時30分

オーダーメイドのリハとレディメイドのリハ・社会へ与える影響

ラウンドテーブルディスカッション

座長 滝沢茂男 リハビリエイド有限会社

参加者・岡本 雄 三大分県三重町岡本病院院長、久保田京子 社会医学技術学院、斎藤 幸広 藤

沢市民病院リハビリ科、和田里佳 立花整形外科医院、滝沢恭子 老健施設湘南の丘、増田信次

神奈川県産業技術総合研究所、慶応大学SFC環境情報学部教授武藤佳恭、同研究科吉池紀

子、岡宗一、Celia B. Lamkin, M.D., Commonwealth of the Northern Mariana Islands Governor's

Developmental Disabilities Council.

エンディング 4時30分～4時40分

研究参加者による可能性の追求

福井圀彦 老健施設湘南の丘施設長

事務局報告 4時40分～4時50分